



●待降節第二主日

泉のほとり

今月の詩篇「第五〇編」

天は神の正しいことを告げ知らせる。
神は御自ら裁きを行われる。

思いがけない時に

キリストは世の終わりと共にご自身が再び来られる。「その時」について、「だれも知らない。天使たちも子も知らない。ただ、父だけがご存知である」と言われました。人の子は思いがけない時に来るから、目を覚ましていなさいと教えられました。

ところが、世の終わりが近づいてきたことの「しるし」を日々見聞きしている私たちはどのようにして目を覚まして、キリストの再臨に備えることができるのでしょうか。目を覚ましているとはどういうことでしょうか。

イエスキリストはヨハネの黙示録3章で、サルディスという教会に「目を覚ませ。わたしはあなたの行いが神の前で完全とは認めない。あなたがたはどのように受け、聞いたのか思い起こして、それを守り、悔い改めなさい」と厳しく語っておられます。そして最後にそこでも、「目を覚ましていなさいなら、わたしは盗人のように来る」と言われたのです。

この黙示録の主のことばによりますと、「目を覚ましていよう」とは、キリストのことばを受けて、そのことば通りに生きるということです。キリストのことば通りの人になるということです。そのために常に目を覚ましてキリストの言葉に自分を照らし、それに従って生きることです。

終わりの時代に、この世のために、何か特別なことをしなければならぬということではありません。むしろこのマタイの24章で注目すべきは、キリストが再び来られる時に天に引き上げられるキリストに会う人たちは畑の仕事をしています。また白を引いている人たちがだつたということです。そのうちの一人が引き上げられると書かれています。すなわち、日常の生活において、任せられた仕事をしている時でした。自分の生活の只中で、キリストのこと

ばを愛し、キリストのことばに忠実に生きようとしていた人たちに違いありません。あらゆるこの世の終わりのしるしが現れている中でも、慌てず、動揺せず、及びもつかない大きなことを追い求めず、キリストのことばにのみ目を向け、ごく小さなことに忠実な人たちであることと思わされます。二千年前、家畜の小屋で生まれたキリストに出会ったのは夜通し羊の番をしていた羊飼いたちだったことも、これと重なるところがあるのではないかと思います。

クリスマスマスの出来事について、人々はよく「キリストがへりくだって馬小屋で生まれてくださった。そこまで低く、また貧しくなられた」とキリストを称えています。キリストご自身はどうして人はそれほど騒ぐのかと思うのではないかと思います。キリストは馬小屋をなんとも思わないでおられました。むしろ私たちのほうはまだ高い所から馬小屋におられるキリストを見ていたのではないかと思います。キリストはへりくだりをへりくだりとも思わず、貧しくなられたことを貧しいとも思わず、嘲たのです。そこに、戦争の騒ぎ、戦争の噂、民、国同士が敵対しているこの世の終わりの兆候が現れている中で、私たちの流をばつかりと示す光が見えているのではないのでしょうか。私たちも身を低くして、そこから語られるキリストのことばを慕い求め、キリストの御心にかなう者となるために、日々目を覚まして生きたいと思います。

キリストは再び来られます。その時は近いです。キリストから「あなたはわたしのことばを愛し、それに忠実であった。そのためのあなたの忍耐を知っている」と言われる者は幸いです。(マタイ二四章三六〜四四節)

祈り

主イエス・キリストの父なる御神。あなたはわたし共を選び、わたし共にあなたの恵みをさまざまな形で教えてくださり、しかも、ここでひとつになつて主の恵みを讃美することができるよう導き、備えていてくださいます。特にこの朝は主の食卓にあずかることができます。どうぞ、主の招きの声を明確に聞くことができますように。

この礼拝堂に入りまして、喜びに溢れて挨拶を交わし、互いの安否を問ひながら、それだけに、ここに来ていない者の安否を気遣いながら、しかも、すべての者が主の恵みに捉えられていることを確信することができます。ひとつの思いで礼拝することができ、何にも勝る恵みであると感じたいします。あなたの恵みの深さを思いますとき、わたし共の罪がいかばかりであったかを思い起こさないわけにはいきません。昨日、一昨日の歩みを考えてみても、それだけの感謝をもつて生き始めることができたか、朝が来るたびに、すでにつぶやきが心のうちに起こり、あなたに対する信頼よりも、前途に対する不安がわたし共の心を捉えてし

まつていたのです。それもまた不信仰の罪に他ならないことに気づかせてくださいますように。

主イエス・キリストが心をこめて論じてくださいました愛の戒めを心にしっかりと書き記したつもりで、しかし、その愛を人々に求めるばかりであつて、自分が人に注ぐことがどれだけ貧しかったか、そのことにも気づかずにお過ごししておりましたことを、今、御前に恥じるものであります。あなたがわたし共に与えてくださっている信仰と望みと愛、この大きな霊の賜物を生かすことなく、不信仰の故にそれができなくなつてしまつていることに、そのようにして自分自身をも正しく生かすことができていることに気づき、白らの罪を認めることができますように。

どうぞ今、主の食卓にあずかるに相應しい悔い改めの心をあなたが与えてください。主の救しを、全存在をもつて受けとめ、信じる心をあなたが与えてください。御霊を豊かに注いでください。自らを添えて、あなたの御前にすべてを献げることができると祈りをここにすることができるよう。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り、願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、図書・器用室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。昼食後、説教を通して与えられた恵みの分かち合いをします。

○午後三時四〇分から礼拝堂で、イブ礼拝のゲネプロが行われます。

一四時 会場準備

一五時四〇分 ゲネプロ開始

一七時半 ひな壇の解体 椅子の片付け

○今週のクリスマス集会

一三日(水)

・朝の聖書の会クリスマス

・老人給食ボランティアクリスマス

・ウエンスデイトナイトクリスマス

一三・一四日(水・木)

ポピークラスクリスマス

一六日(土) 幼稚園クリスマス

○一二月一七日(日) 一時より、地下ホールで教会学校ページェント「ちいさきものクリスマス」を開催します。

○紫園香音楽伝道師は、本日、社会福祉法人 坂郷の家で、また一六日(土)は希望の丘 キリスト教会で、コンサートの奉仕をします。お祈りください。

教会暦 待降・再臨・アドヴェント
主を待ち望むアドヴェント

Wir sagen euch an den lieben Advent
B: Maria Forsche, 1896-1902

WIR SAGEN EUCHAN DEN LIEBEN ADVENT
B: Heinrich Rehr, 1902-

1-4 土を まちの そむ アドヴェント、
最初の
第二の ろうそくともぞう。
第三の
最後の

主が みちを そなえられ た このと きを まも ろう。
主が なぐみ て た そ の よう に、 たが いに たを す けら す。
主は この世 に き た り た も う。 こ ころ こ め、 う た お う。

(くりかえし)
主の た みよ、 よろこ べ。 主は ち - か い。

聖書の会

12月13日(水)

○朝の聖書の会 10時

クリスマス祝会(参加費200円)

○聖書の夕べ 19時

ウェンズデイ・ナイト・クリスマス

(参加費700円食事付き)

ミニコンサート

12月14日(木) 13時開演

「サイレント・ナイト」他

ハンドベル演奏

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望む 97番

説教 「つまずかない人は幸い」

聖書 マタイ11章2節〜15節

説教者 黄允湜 副牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 97番 344番

詩編 第50篇

説教 「神から遣わされた者」

聖書 II コリント12章1-11節〜18節

説教者 古村利雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望む

97番

説教 「悔い改めにふさわしい実を」

聖書 マタイ3章1節～12節 (新約P3)

司式者 山下 純一 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「グリーンスリーブス」R.R.バリ

○「主を待ち望む」讃美歌21 242番

1.主をまちのぞむアドベント

さいしょのろうそくともそう

主が道をそなえられた この時を守ろう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

2.主をまちのぞむアドベント

だい2のろうそくともそう

主がなされていたそのように

たがいにたすげよう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

3.主をまちのぞむアドベント

だい3のろうそくともそう

主のめぐみ てりかがやき くらやみをてらす

主のたまよ よろこべ 主はちかい

4.主をまちのぞむアドベント

さいごのろうそくともそう

主はこのよに きたりたもう 心こめうたおう

主のたまよ よろこべ 主はちかい

○サクソフォーンによる讃美

讃美歌II-244番

○讃美歌97番

1.朝日は昇りて 世を照らせり

暗きにすむ人き たりあおげ

知恵に富みたる主 世にいでたり

愚かなる人は きたりまなべ

2.力にみつる主 世にのぞめり

かよわき人々 きたりたのめ

安きを賜う主 世にくだれり

苦しめる人は 来たり受けよ

3.救いを賜う主 世に生まれぬ

高きも低きも きたりいわえ

天地 (あめつち) しらす主 世にあらわる

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 94番 335番

詩篇 第50編 (旧約P883)

説教 「無知を知らない無知」

聖書 マタイ7章1節～6節 (新約P11)

司式者 山下 純一 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允澁 高牧師

前奏曲「わが魂は主をたたう」J.S.バッハ

○讃美歌 94番

○サクソフォーンによる讃美

讃美歌II-244番

○聖歌隊による讃美

「さやかに星はきらめき」 A.745

さやかに星はきらめき

御子イエス生まれたもう

長くも やみじをたどり メシヤを待てる民に

新しき朝は来たり 栄えある日はのぼる

いざ聞け み使ひ歌う 妙なるあまつみ歌を

めでたしきよしこよい

互いに愛せよととき 平和の道を教え

全てのくびきをこぼち 自由を与えたもう

げに主こそ平和の君 たぐいなき愛の人

伝えよそのおとずれを ひろめよきよき御業を

たたえよ声のかぎり

○讃美歌 335番

聖餐曲「ノエル」A.747

後奏曲「グランドコワイア」C.777

よろずの物みな どよみうたえ

聖餐曲「パストラール」W.777

後奏曲「グランドコワイア」C.777

＊礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。